



日刊夕 日一十月三年二十
日刊夕 日一十月三年二十
日刊夕 日一十月三年二十

乾坤一轉、茲に昭和十三年を迎ふ、竹の園生の彌樂は申も畏し、治まる御代に願がしき風なく波なき明朋和樂の新春に感新なり、一日の計は朝にあり一年の計は元日にあるの言、珍らしくはないが何となく捨て難し、人間一生の中に幾度も繰返す正月、十二月月目には必ず廻り来る正月、定まりきつた事でありながら正月と云へば顔面胸躍の生々たる感激に打たれるもの、過去の一切を消帳して一新出發の機会を與へられる爲めに外なるまじ、

座講識常
アブノーマルは常を異にするの意、病的變態のことだ、アブノーマルは抽象的のこと、アブノーマルは絶対、無限、安全、君主專制、専制政治の類を指して云ふ

戰捷 新年會
會場は第一校講堂
戰捷の春を祝ふ
平市主催の歳旦戰捷祝賀新年會は今日午前十時(時間満)

折はありましたが舊平、平達兩町村協定成立の結果其の筋の承認するところとなり昭和十二年五月二十二日 内務大臣は六月一日より兩町村を廢し平市を設置するの告示を發布せられ茲に平市の誕生を見ただけであります

爾來法的手續を完了いたし自治運営の機構も整備いたし若々市の發展を期しつゝありまざるが市制施行後間もなく支那事變の勃發に依り時局益重大を加へ從て市としての計劃等に關しは遺憾の點多からず個々不肖之しきを市長に承けこの重責を果すを得るや否や只其の及ばざらんことを恐れ衷心慍たるものがあるであります、希くば市民各位一層の御援助あらんことを切望する次第であります

砂利採取部
砂利採取販賣部
自動車運輸部
神谷商會
小錦
鈴木喜太郎
大平陸四郎
赤津一
草野米彌
移問屋
本問屋
草野米彌
古川傳一
清水正宗
清世界
小野晋平

皇紀二千九百九十八年の新春を迎へ旭旗万戸に翻り瑞雲天に漲る聖代に生を享け茲に天に聖壽の無窮と國運の隆昌を頌へ平市民各位と共に祝賀の式を行ふは不肖の最も欣幸とするところであります

新年奉祝年頭の辭 平市長 青沼鋒太郎
御慶の然らしむることは白すも畏き極みであります、我忠勇無双の出征將士が烈々たる忠誠報國の赤誠に燃ゆる奮闘努力の結果でありまして吾々國民の感謝感激措く克はざる所でありまして、全時に白衣の將兵、護國の華と散つた無言の凱旋多勇士の英靈に對し衷心より默禱感謝を捧げ、益饒の國を固く報國の至誠を致し國民精神總動員の趣旨を體して奮闘事項の普及徹底に努力し今後の事態が如何に展開し如何に長期に亘るとも吾々國民は與國一致盡忠報國、堅忍持久の確固たる決心を以て皇國聖戰の大使命を遂成し皇運を扶翼し宸襟を安んし奉らなければならぬと確信するものであります、而して帝國は強國と防共協定を結び又た世界の強國伊太利の之れに參加し、獨、伊の三國防共協定成立いたしました、我帝國は斷然起つて破邪顯正の劍を執り征戰茲に五ヶ月餘或は北支に、或は江南の地に勇戦又た轉戦、朝に一城を

有半を経過しフランス將軍の國民政權はスペイン國土の三分の二を支配するに至り、日獨、伊、三國防共協定が動機となり日本のフランス政權承認となり更に滿洲國、續いてポーランド其他の國に於ても承認することとなつて共產黨の擧げ遠からざるを想はしむるものがあります、而かも支那の現狀は多年民衆を搾取し抑制壓迫し偽滿政權を執り來りたる蔣介石政權及國民黨の顛落と共に北支にも中支にも民衆自身のための新支那誕生の黎明が訪れて居ります

既に北支には中華民國民臨時政府が樹立されて其の陣容を鞏へ上海にも大道自治政府が成立し北支の各自治機構が北京の臨時政府を樞軸として之れに融合したるが如く舊版に於ても南京の復興民衆の安居樂業、國民黨政權の完全なる實現、抗日各分子の一體親自治委員の組織を見るに至りまして今次の支那事變の武力戦に於ける前途は南京陥落を一段階として稍々見透しが付いたと申すもので、現下に於ける東亞を繞る國際情勢は極端に緊張し、思想戦に極めて微妙複雑でありまして事態の推移決して豫断を許しませぬ緊要を要するの秋であります、爾て本市の過去を顧みますと、劃期的の事業とし云ふべき市制施行も多少の迂曲曲

其他商業學校の改築、第四小學校の増築、第五小學校の改築、平達方面に於ける道路改良の計劃、農工商業の積極的指導獎勵等々實現を期せむとして居ります、又今後に於て施行せんとする事業の概要を申すれば、都市計劃の實現、下水道の完成、市廳舎の改築、社會事業の施設經營等市としての設備は之れを算へれば、之れに要する財政の經理亦た決して容易のものではありません、左れば籍手に相當の時日を以てすることを諒とせられんことを望むものであります、希くは將來市民各位の深甚なる援助に信賴いたし戮力一致共存共榮平和調和に開明なる本市の建設に邁進いたし、以て福利の増進を努め市民生活の向上發展を圖らんとするものであります、以上聊か贅辭を陳べて新年祝賀の意を表する次第であります、昭和十三年一月一日

Bottom section containing various advertisements for businesses such as '小野晋平', '清水正宗', '草野米彌', '赤津一', '鈴木喜太郎', '大平陸四郎', '草野米彌', '移問屋', '本問屋', '古川傳一', '清水正宗', '清世界', and '小野晋平'.

押詰まつて増加 平局の年賀状

前年より三割減位か

平郵便局の年賀状特別取扱は市制施行の初年でもあるので常態ならば例年並に、到着、中継を合せて百四、五十万通に上つた二割増位を推想されてゐたところ支那事變の影響で極端に減り去る二十九日までの取扱高は四十萬余に止まり前年比にして約七割と云ふ激減を見てゐるが爾後切端詰つた三十日及び三十一日に及んで俄かに増加し此の模様では七割の減少を見られたものが年頭になつて案外な幅幅を見込まれ結局三割位の減かと思はれ取扱側としては新年に臨んでの増加を如何に善處すべきかについて相當の悩みとなつてゐるものと聞く。

極貧者への同情募金

合計四百六十三圓余

全国方面同情週間於て同情袋を全市から集めた平市社会事業助成会に於ける昨年末三日間の募金額は現金四百六十三圓十三錢と白米二石で日別募金額左記の如く同會では該金品を來る舊歲末極貧者に贈與する等である。

▲二十三日二百九十五圓三十三錢▲二十四日百五十八圓四十五錢▲二十六日九圓三十五錢

養兎事業で 經濟更生

本縣信夫郡野田村は養兎を村の更生計に織り込み着々成



果を収め村内に於ける現在養兎五千頭に近づき同郡水保村とともに全國一の養兎縣で

慰問献金

鈴木前代議士

平市四丁目前代議士鈴木辰三郎氏は時局に鑑み年賀状を節約して其の費用分金三十圓を皇軍將兵の慰問金とし寄附す

著『消防を語る』

井上平消防

平消防組頭井上茂作氏は在職實に三十餘年に及び本邦界に於ける實際家の權威で全國消防の大同團結を提唱して大日本消防協會の創設にも功勞から予此の長き消防生活より得たる体験を世に公にすべく今回『消防を語る』と題して四六版百三十一頁ものを著し同好の士に頒けてゐるが同書は頭山滿先生の題字、

一方増殖委員三十名を嘱託種兎台帳の作製、飼養の改善、補助金交付、種兎分婉報告書作製、優良種飼養者への補助金交付等あらゆる手段を講じた結果で、養兎に對しかくの如く村當局が各種の施設を講じてゐるのは東北地方でも例がないだらうと云はれてゐる。

大日本消防協會長法學博士松井茂、同會理事緒方惟一



新年のハナカ

新年宴會は何時頃か行はれたものかと云ふに文獻に遺されるものでは昭和二年に宮中で催されたのが初まりだとなつてゐる、其の頃は元旦節會(くわんじつせつ)と稱へられたもので今の新年宴會がこれに緣由するものと云はれてゐる、元旦節會は其の名の如く元旦を下し天皇陛下

小學生國防献金

石城郡泉村小學校の高等科二

が群臣百官を紫宸殿に召されて宴を賜ふ朝儀であるところから元旦宴會とも言はれた、其れが一時中絶されて天正の頃(今から三百六十餘年前)から再興して以後例年の儀となつた、明治に至つて新年宴會の御儀を一月五日と制定され天皇陛下には此の日、皇族を如め群臣及び各國の大使公使を豊明殿に召されて御宴を賜ふことになつたのである、民間に於て行ふ新年宴會の

謹賀新年

印刷部 大庭美樹
編輯部 外一同
半谷政喜 外一同
新しい新聞社

年女組山崎まさ子さん外三名は荒生次郎訓導の指導に基き一、二錢づつを集め尚ほ反古紙を賣つて毎月國防献金

保健組合療園豊間村に建設
社団法人健康保險組合聯合會本縣支部の療養園は石城郡豊間村回春園西の乾燥地に建設されることになつたが此の地形測量並に取付道路設計等に關し土木課から細井技手出張所より調査を以て埋

二毛作品評會
石城郡平、夏井、好間、舊平窪四ヶ町村聯合の二毛作品評會は審査を終つたが此の

年頭偶吟
滿壽莊生
皇軍支を膺懲して連戰連捷國威を宣揚し中外を震撼するは殆んど猛虎の偶を負ふて咆哮、百獸懼伏するが如し、時あだかも貞年の際す
極東に負偶の貞の年立ちて世界をふるふ咆哮の聲支那を撃つは又是れ赤色共產黨を撃つなり龍吟して雲を生じ虎嘯きて風を起すとかや

歳晚偶感
滿壽莊の選稿
昭和十二年の五年も餘り處僅かに數日となつた古い諺に牛に赤い物を見せると必ず怒ると云ふが成程古人言を欺か

千圓寄附
小田吉次氏
石城郡好間村の小田吉次氏は財を得て徳をなし富んで義に志厚く公共に私財を寄さざる舉に對し現に細線褒章を授けてゐるが今回また福島武徳殿建設費の中へ金一千圓を寄附された

嘯きて東亞の空に防共の風吹き起す寅の初春



子供の喧嘩を買つた傷害の檢舉
石城郡内郷村の綴日野炭礦坑夫若林東(美)は子供の喧嘩を買つて出で隣家の鍛冶職古内福太郎方徒弟佐々木助三郎(巴)を踏んだり蹴たり全治二週間傷害を與へて去る二十七日平署に檢舉取調へ中



平市役所
工務課員一同
平土木監督 田中幸吉
夏井川改修事務所長 高橋恒吉
平郵便局長 牛塚房吉

謹賀新禧

衆議院議員

比佐昌平

衆議院議員

蓮沼龍輔

縣會議員

平市助役

伊藤秀吉

平市役所

収入役

西野源次郎

主事

酒井虎之助

主事

草野常彌

主事

四家久米治

戰勝新年

この意氣この功績 唯々使命に献身

軍務に追はれてつい御無音に打過ぎました、小生は愚弟兄弟の兄であります、種々御迷惑を御掛けいたして居ります、江南の地より厚く御禮申上げます、

去る〇月〇〇日、〇〇鎮陥落の翌日敵前上陸により幾多の忠勇な血により占領した〇〇砲台附近に上陸して以来今日では丁度〇ヶ月(入隊〇月〇〇日)上陸當時は全く激戦そのもので〇〇〇日夜以来毎夜の如く夜間支那機の空襲に遭遇いたしました、又一体に未だに敵の死体あり血生臭い光景でした、



戦勝の御慶びを話す

〇政府の豪壯な建物は正確そのもの、吾が砲に全く破壊され〇〇の像も砲に飛はされ惨憺たるものでした、先日小生〇政府にて一枚八十圓の支那軍戦病兵慰問の勳章券を獲見いたしました、が如何に國情は遠ふと云ひその軍閥の暴狀には全く驚きました、内地にては想像も出来ません、

念願成就の出征 男子の本懐之不過

吹雪の中、歡呼の聲に送られ只今いよいよ征途につくところ願へば應召以來二ヶ月有餘、念願漸く成就、蓋し男子の本懐これに過ぐる

氣で軍の使命達成のため微力ながら盡力いたす覚悟です、先生の御健康をこの地より御祈りいたします、敬愛を警戒する淡いロマンクの下で、皇軍南京入城の日)

恭賀新年

平西洋料理業組合

平電力株式會社

磐城建物株式會社

平運輸株式會社

平市料理屋組合

木澤常松

尼子タクシ

三井自動車部

山崎登

渡邊長作

石城郡湯本町

石城郡町村長會

石城郡學校長會

小野晋平

穀物検査平支所

前田善喜

太田安義

木炭検査平支所

立花種久

飯塚榮一郎

平庶民金庫

大日本電力平營業所

明雲堂眼科醫院

日野運送店

石城郡四倉町 新妻盛

平製氷株式會社

磐城水産工業株式會社

平病院

丸はら商店

平果菜商業組合

直龍軒理髮舖

矢ヶ崎 鍊

磐城無盡株式會社

農山村の副業 農東子

農山村の女子供に出来る スリッパ

地方農村に於て否農村のみではない本業の大切なことは勿論であるが其の時の閑暇を利用して副業を工夫することとが巷間頻りに唱ひられる。更生の助となることか小さくはない、閑暇と云ふものは一日の間にも更に朝に晝に夕に居常幾多の場合に見出し得る此れを利用してならば大したものであらうことを考へる、そこで其の地方に何かを工夫することを奨めてゐる、竹でも藁でも木でも其の他何なりとも先づ手近にあつて容易く手に入るものを目をつければ注いだならば幾つ一廉の特産品になるものも少なくないであらう、此の氣持から考へられた女子供にも出来る雪國の副業としての珍副業二つを紹介しよう。

農東子(わらたわし)、これは青森縣の木造中學校作業科が農村工業として着目し今春來製造され製品を各方面へ配付して試用させたところ非常な好評を博した、原料の藁は地方に無盡蔵なので大量生産が可能である上現在家庭で用ひてゐる龜の子束子の原料である標稻は一ヶ年の輸入四百万圓に上り農東子の使用によつて輸入防止が出来て莫大な國益を計ることになる、此の農東子の特長は、

使用の際飛ばせず前掛や襟衣を汚さぬこと、器物を損傷せぬこと、水含みよく長持ちすること、値段が安く綿油類洗滌に適すること等で

小束藁五把から二十個作ることが出来、生産費は一個僅か五厘で製造能率は一日一人で二百個は樂、仕事の簡單なところから老人婦女子でもつくれる、

造り方は藁をよく叩き長さ四センチに切斷し十七番の針金を四十三センチに切つて二つ折とし、製造機に取りつけ切斷頭を挿入して把手を八回乃至九回轉すれば藁棒が出来、その兩端を「ヤットコ」で捻ぢ固め丸く曲げ針金の輪に一端を挿入して形を整へ缺で周囲の不揃ひを整へれば良い、更に新案として健康束子、立關用マツト、煙筒掃除用等の加工も出来るので木造校の神教諭は熱心に藁の活用を普及宣傳に努力してゐる、次は

新案スリッパ、であるがこれは纖維學研究に没頭してゐる青森縣上北郡三本木町恩地桑次郎氏は雪國農山村に玉蜀黍殻を材料としたスリッパ製造を行つたが材料は弾力性に富んだものだけに足觸りよくかつ又耐久力があり休裁も羅紗などで造つたありきたりのものと異なり風雅で和洋何れに使用しても趣きがある、

材料費はこれを織る糸代一足につき五厘代ぐらゐのものでまだ市場に出さぬため價格も決まつてはゐないが一足十錢位には賣れるものと見込まれてゐる、作業は簡單で女子供にも出来るから玉蜀黍を栽培してゐる雪國の農村副業として普及性が十分あるものとされてゐる

恭賀新年

平市 長

石城郡大浦村 長

木市 長

平消防組 頭

關内 正一

入山 炭 株式会社

石城郡山田村

片倉 磐城 株式会社

横山 商店 債券部

和洋銅鐵 金物問屋 釜屋 商店

石城郡銀行組合

電話九・九九番

電話二七一番

電話八一・八二番

中野齒科醫院

院長 中野 惠次

平・田町 電話五〇九番

堀江 株式會社

平 播磨小路

古河炭礦鑛業所

磐城炭礦 鑛業所

白水炭礦會

有煙無煙石炭 木材 販賣業

(磐城平市) 電六三八

高橋龜松商店

阿部醫院

院長 阿部 瀧藏

石城郡夏井村

賣藥化粧品、醫療器械

星子エンストア一平支部

木之藥舖

平市三丁目 電話四二九番

磐城山萬靈廟 田久彌七

石城郡赤井村小川部